

【高等部の教育】

1 教育目標

*生徒の希望や願い、青年期の特性を考慮し、将来の社会生活に必要な基礎的な知識や技能・態度を養う。また、学校生活を通じて自己選択や自己決定、自己表現の力を高め、一人一人の目標に向かって学ぶことができる力を育てる。

- (1) 自分を信頼し、相手を思いやる気持ちをもって、他者と経験を共有しながら学習活動に取り組むことができる力を育てる。(人間関係をつくる力)
- (2) 自分の気持ちや考えなどを適切に伝えることができる意思表示の力を育てる。(コミュニケーション力)
- (3) 自分から周囲の人や活動に対して、注目したり、働きかけたりする意欲を育てるとともに、身に付けてきたことを生かして、自己の役割を果たすことができる力を育てる。(社会環境への適応力)
- (4) 自分の好きなことや得意なことを知る経験を通して、社会生活の中で自立した生活を送るための知識や技能を育てる。(はたらく力)
- (5) 自分が選択したことを実行し、責任を果たすことの意味を理解したり、課題解決をしたりすることを通して、自己理解を深める力を育てる。(選択・決定する力)

2 教育方針

- (1) 生徒一人一人の実態や願いを踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させた授業づくりを通して、着実に学びが積み上がるように努める。
- (2) 自立活動の観点から学習や生活における学びの困難さを理解し、個々に応じた指導や支援に努め、必要な基礎的な知識・技能・態度を育てる。
- (3) BYODによるICTを利活用し、各教科等での学習場面で適切に用いることを通して、情報活用能力を育てる。
- (4) 生徒の良さや学び方の特徴を生かした教育活動を通して、獲得した知識や技能をもとに、自己選択や自己決定、自己を表現する力を高められる思考力や判断力を育てる。
- (5) 個別の教育支援計画、個別の指導計画を通して、保護者や関係機関と共通理解を図り、地域とも連携しながら教育活動の充実に努める。

3 特色

今年度新たに13名の新入生を迎え、全学年生徒が53名となりました。

高等部は地域に根ざした教育活動を進めており、市内の企業、町内会、福祉事業所、関係機関等と連携した学習活動を展開しています。毎年5月には中央区の元気なまちづくり支援事業の一環として、「ふれあいフラワー事業」での公園の花植えや管理、2月には町内会の事業である「もいわ山麓ゆきあかり」へ参加し、ろうそくを製作・提供とともに、アイスキャンドルの製作も行っています。

「自分の良さを地域の力に」をもとに、「地域学校協働学習」を行っています。目的は、地域での活動を通して、社会とのつながりを感じるとともに、自分のやりたいことなどへの気付きや活動へ動機付けや意欲を高めることです。その中では、企業や公共施設等と連携し、店舗清掃や商品陳列、開店準備などを行ったり、委託された贈答品のシール貼りをし納品したりするなどの活動に取り組んでいます。

今後も生徒が主体的に学ぶことができる学習環境等を整え、将来の社会生活を具体的にイメージ(学習のゴール)した教育活動の充実に進めていきたいと考えています。